

戦争―次の世代への伝言

1銭5厘の命 兄はビルマで

畑 昭夫 85

私の長兄は1943(昭和18)年の春、20歳の徴兵検査を受け、すぐ召集令状が来て陸軍福岡連隊に入隊しました。令状のはがき代は1銭5厘。「1銭5厘の命」と言われたものです。兄のあいさつは「天皇陛下のために一命をささげ戦つて参ります」というようなもので、当時の定番でした。入隊後、父に連れられて連隊に会いに行きました。兄の好きなまんじゅうや餅を持参しました。短い時間の面会を終え、兄は口いっぱいにまんじゅうを入れ兵舎に戻って行きました。これが兄の姿を見た最後でした。ある日、兄はどこかへいなくなり、軍の移動は秘密でした。

兄は終戦後、帰ってきません。父母はうわさを聞いては訪ね歩きましたが、確かな情報は得られませんでした。終戦から1年が過ぎた頃、戦死の公報が来ました。見た瞬間、母は「グッギャー」と悲鳴を上げました。あの叫び声は一生私の耳から離れることはありません。その時、兄はビルマ(現ミャンマー)に行っていたと分かりました。

テレビ番組でビルマ戦の詳細を知りました。一人の指揮官がインパール作戦を

立てて「物資の補給ができない」という多くの反対を押し切り、地形も気候も知らず数万の兵を山岳のジャングルに次々と送り込んだのです。兵士たちは飢えとマラリアや赤痢などで苦しんで死んでいきました。兄はとうとうたのたの死んでいきました。兄の命は消耗品だったので。作戦中止後、その指揮官は部下たちを置いて日本に帰り、何の罪を受けることもなかった、といひます。(福岡県古賀市)

森は子供のころ何も考えないで「月～ 1銭千五厘の靴はいで・・・なっちょらん なっちょらん なっちょらんよ」という歌を歌っていたのですが、この記事で、この年になって、1銭5厘という歌詞の意味が分かりました、ショックです。無知であるのがいかに恥ずべき恐ろしい事かと改めて認識しました。お隣の古賀市の住民の方の投稿です。「インパール作戦」は軍人による最悪の戦略です。

Opinion オピニオン

【左】電動ボードが合法化され、車道でも歩道でもこれを利用することが可能になります。(2023年7月に法律が施行されることが明らかになったことを後日再びASSETSに掲載します)免許証は不要になりますが年齢制限などがあります。今年から大量の電動ボードが見受けられるようになるでしょう。ただ左の記事に見られるように「事故が多発」しています。注意して利用してください。

電動ボードルール守って

若者中心に人気がある「電動キックボード」。新型コロナウイルス感染拡大が続く中、「密」を避ける移動手段としても注目を集める。道交法に準じた電動キックボードは、車道を走らなければならないが、国は規制緩和に向け実証実験を実施。ただしルールを守らない利用者による事故が相次いでおり、安全性が課題だ。

経済産業省によれば、電動キックボードのシェアリング

規制緩和へ実験中

10月まで福島、長野、兵庫、福岡などの一部公道で実証実験を行っている。実験では時速15km/h以下の条件下、ヘルメットを装着し、自転車レーンも走行可能。

一方、電動キックボードの事故は急増している。警視庁は昨年7月から統計を取ら始める。同月までに東京都内で

電動ボード 免許不要に

7月から新制度 16歳未満は禁止

7月1日、最速時速20km/h以下の電動キックボードが新制度で公道を走行できるようになり、免許不要となる。16歳未満の子供は公道を走行できない。また、ヘルメットを装着し、自転車レーンも走行可能。

現在	新制度
原動機付自転車(最高時速20km/h以下などの基準を満たすもの)	特定小型原動機付自転車(最高時速20km/h以下などの基準を満たすもの)
必要	必要
必要	必要
必要	必要
必要	必要

【左】【下】高校入試では「日本の最大の貿易相手国は中国である」という設問がなされます。しかしいつものようにアメリカは自国の利益を守るために日本の政治家や経済界の人間を脅して、中華人民共和国と貿易をしないように圧力をかけています(そんなことをしてもはやアメリカは中国には勝てないことを2023年1月の新聞記事から後日紹介します)。そのことは日本の財界人ならみんなわかり切っているのです。元外交官の孫崎さんや元総理大臣の福田達夫さんなど(福田さんは2023年の雑誌「世界」2月号でも詳しく述べられています)が明白に主張されています。そんな状況下で、賢い日本の企業家は、中東でも中国でも「アメリカに脅されたことをそのまま守っているかのような、やったふり外交を展開している」というNEWSWEEKの日本批判の記事とそれに対する孫崎さんの日本経済を守ろうとする新聞記事を張り付けました。早く日本がアメリカ合衆国の経済的支配や軍事的支配を逃れることが必要だと思います。しかし各所で述べているように、安倍さんを含めて、田中角栄さん小沢一郎さん福田達夫さん鳩山由紀夫さんなど、反米・親中国・親ロシアという方針を少しでも見せた政治家は、すべてアメリカにつぶされているように思えます。各所に述べているように私の人生が豊かだったのはアメリカ合衆国のおかげであるという感謝の気持ちがなくなることはないでしょう。しかし、今のように日本が凋落している時代では、もっとしっかりと日本の自立を指導者が考える必要があると思いますが、いかがでしょうか？

米中拮抗 日本の安保考える 孫崎亨さん

「日中」活路は相互依存の深化

選挙間

この国は... 孫崎亨さん

最近のメディアの努力もあって、多くの校則や制服の規定などが変わりつつあります。しかしまだ十分ではありません。そもそも何が問題化といいますと「すべての人たちが権力者の言いなりになって政府に抵抗をしない生徒を育てよう」という戦前の軍国主義ないし日本が批判する中国(実は今の中国は日本が馬鹿にできるような国ではありません)みたいな教育をしているからなのです。社会がうまく機能するためのルールは守らなければなりません。しかし教育の目的は「国家や社会が抱える問題を批判的に把握してそれを変えることができる人間を育てる事」なのです。

「変な校則」大人こそ声を

米国人アンさん SNSで発信続け

娘の茶髪に地毛証明!?

「明らかにならないうちに、髪を染めたい」という声。米国人アンさん(27)が、SNSで発信し続けている。アンさんは、娘の髪を染めたいと訴えている。学校側は「茶髪禁止」という校則がある。アンさんは、娘の髪を染めたいと訴えている。学校側は「茶髪禁止」という校則がある。アンさんは、娘の髪を染めたいと訴えている。学校側は「茶髪禁止」という校則がある。

「三つ編みも禁止」

アンさんの娘の髪は、日本に馴染みがない。アンさんは、娘の髪を染めたいと訴えている。学校側は「茶髪禁止」という校則がある。アンさんは、娘の髪を染めたいと訴えている。学校側は「茶髪禁止」という校則がある。

Commentary

A WEAK-KNEED DIPLOMACY

日本「やったふり中東外交」の罪

孫崎亨(イタリヤ思想界)

8月10日、中東情勢は依然として緊張を帯びている。日本は、中東での外交政策を再考する必要がある。孫崎亨さんは、日本の外交政策を批判している。孫崎亨さんは、日本の外交政策を批判している。孫崎亨さんは、日本の外交政策を批判している。